

<子どもの保育目標>

特定の大人との愛情豊かで受容的・応答的な関わりの下、生活リズムをつかみ心地よく生活する。


<養護> 生命の保持

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ① 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。 ② 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 ③ 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 ④ 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。
保 育 士 が 行 う 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・登園時の健康観察や子どもの様子の把握を日々必ず行い、家庭での食事や睡眠などについて保護者から情報を得る。 ・常に体の状態・機嫌・食欲などの観察を十分に行い、変化が見られた時は適切に対応する。 ・不適切な養護の早期発見・児童虐待への対応など、子どもの人権を守る視点からも日々の心身の健康状態の確認や継続的な把握、記録を行う。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・保育士などが子どもの疾病についての理解を深める。 ・子どもの周囲の環境を点検し、衛生的な環境への細心の注意を払う。 ・子どもの発達の過程や特性を踏まえ、一人一人の子どもの行動を予想し、起こりやすい事故を想定しつつ環境に留意して事故防止に努める。 ・子どもの活動を保障し、子どもにとって安心安全な環境維持及び向上を図る。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・明るさ・温度・湿度・音などについて常に配慮する。 ・保育士は応答的に関わりながら、食欲や睡眠などの生理的欲求を満たしていく。 ・送迎時の保護者との会話や連絡帳、懇談会などを通し、積極的に家庭との情報交換を行い、子どもの一日の生活全体を考慮して、食事・睡眠・休息・遊びなどが無理なく営まれるようにする。 ④ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を見通し、全身を使う運動を適度に取り入れ、それぞれの状態に応じた活動を十分に行う。 ・生活リズムに合わせて適度な休息をとることができるようにする。 ・静と動のバランスを配慮して、保育の内容に柔軟に取り入れる。 ・友達と一緒に食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わえるようにする。 ・基本的な生活習慣の習得については、急がせることなく、一人一人の子どもの様子をよく見て適切な時期に適切な援助をしていく。



健康観察
子どもの様子を把握する




<養護> 情緒の安定

ね ら い	<p>① 一人一人の子どもが、安定感をもって過ごせるようにする。</p> <p>② 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</p> <p>③ 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</p> <p>④ 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。</p>
保 育 士 が 行 う 事 項	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの心身の状態や発達過程を的確に把握し、それぞれの子どもの欲求を受け止め子どもの気持ちに寄り添う。 ・優しいまなざしや態度で関わる。 ・温かなやり取りやスキンシップを心がける。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの気持ちを汲み、適切に応答する。 ・子どもと向き合う中で、自らの思いや願いを子どもに返していく。 ・生活の中で互いに認め信頼し合う関わりを通して、生涯にわたる人との関わりの中盤となる基本的な信頼感を培う。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自発性や探索意欲が高まるような環境を計画的に構成し、保育士は見守り共感しながら励ましたり必要な助言を行ったりする。 ・人と物との出会いの中で芽生える様々な感情や考え、多様な体験の過程を保育士が見守り受け止めることによって、子どもの自己肯定感を育む。 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活全体を見通し、家庭と協力しながら心身の状態に応じて適切に援助していく。 ・静かで心地よい環境の下で、子どもが心身の疲れを癒すことができるようにする。 ・子どもの家庭での就寝時間に配慮して、午睡の時間帯を工夫し柔軟に対応する。 <div data-bbox="529 1453 1000 1805" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="557 1832 976 1895" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>保育士の温かいまなざしの中で</p> </div>

<教育> 健やかに伸び伸びと育つ

<ねらい>



- ・ 身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。
- ・ 伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。
- ・ 食事、睡眠などの生活のリズムの感覚が芽生える。

内 容	保育士が配慮すべきこと
○ 授乳	<p>【一対一を基本とし、安定した姿勢で】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した姿勢で抱いて、目と目を合わせ微笑かけたり優しく言葉をかけたりしながら、ゆったりとした気持ちで授乳する。 ・ 子ども一人一人の状態を熟知する。(抱き方・ミルクの温度・乳首のサイズや種類・飲む量・排気の癖・睡眠のリズムなど) ・ できるだけ同じ保育士が関わり、他の保育士が関わる時も関わり方、声の調子、雰囲気など園で共通した授乳ができるようにする。 <div style="text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">抱っこして授乳する</p> </div>
○ ミルク以外の味を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭との連絡を密に取りながら一人一人の状態に合わせて離乳食を開始する。初めての食材は、家庭で試してもらう。 ・ 離乳食は、子どもの表情や食べている様子を見ながら無理せずゆっくり進めていく。 ・ ゆったりとした気持ちで、子どもが食べ物を飲み込んだことを確認してから次のひとさじをあげるようにする。 ・ 栄養士、調理師、看護師、担任と連携を取りながら進めていく。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">ゆったりとした気持ちでひとさじずつ</p> </div>

<教育> 健やかに伸び伸びと育つ

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 安心して十分眠る。</p>	<p>【一人一人の睡眠のリズムを保障する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠のリズムを把握し、気持ちよく眠れるよう一人一人に合った方法で優しく眠りに誘う。 (手を握る・心地よい歌を歌う・抱っこ・おんぶなど) <div data-bbox="804 613 1155 882" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="847 909 1118 976" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>優しく眠りに誘う</p> </div> <p>※ 睡眠中の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 照明は、睡眠時の乳幼児の顔色が観察できるくらいの明るさを保つ 乳幼児の傍を離れない。機器の使用の有無に関わらず、必ず職員が傍で見守る。 仰向け寝を徹底する。(医師がうつ伏せ寝を勧める場合を除く) 睡眠時チェックをきめ細やかに行い記録する。 (姿勢、顔色、呼吸の状態、体温) 厚着をさせ過ぎない、暖房を効かせ過ぎない。 保護者と緊密なコミュニケーションを取る。 <p style="text-align: right;">「保育施設における睡眠中の事故防止及び救急対応策の徹底について」 東京都福祉保健局少子社会対策部通知より</p> <p>※ 排気をしていない子に対しては、溢乳がないか、窒息に気を付け注意深く見ていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目覚めた時は、優しく声をかける。



<教育> 健やかに伸び伸びと育つ

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ おむつを替えてもらい心地よさを感じる。</p> <p>○ 身体を清潔にしてもらう。</p> <p>○ 外気浴をする。</p>	<p>【きれいになって気持ちいいね】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おむつ交換をする時は、目を見て優しく語りかけながら取り替え、心を込めて丁寧に対応される心地よさを味わえるようにする。 ・ おむつ交換は、汚れたら取り替え、いつも清潔で気持ちよく過ごせるようにする。 <div data-bbox="858 577 1098 792" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="842 815 1114 887" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>清潔で気持ちよく</p> </div> <p>※ おむつ交換のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排便の時は性状、回数、混入物、時間などよく見て体調を把握する。 ・ 股関節脱臼の予防のため、子どものお尻の下に手を入れ持ち上げるようにして替える。 ・ おむつ交換をした時は、石鹸で手を洗う。 ・ おむつ交換は、清掃、消毒がしやすくプライバシーに配慮できる一定の場所で行う。 <p>【赤ちゃんは新陳代謝が活発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発汗が多いのでこまめに着替えを行う。 ・ 着替えの際は声をかけながら行い、身体観察をする。 ・ お座りができないので必ず寝かせて着替えを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外気温や風、日差しに気を付ける。 ・ 外気浴中は、子どもの状態をよく観察し負担にならないようにする。(時間、場所、気温) <div data-bbox="782 1688 1209 2007" style="text-align: center;">  </div>


<教育> 健やかに伸び伸びと育つ

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 腹ばい・寝返りなどの体位を変えて遊ぶ。</p> <p>○ 災害時の対応</p>	<p>【ゴロゴロしたい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士が子どもの目の高さになり、微笑んだり話かけたりして一緒に遊ぶ。 好きな玩具を見せたり近くに置いたりして、遊ぶ環境を整える。 見たものに手を出すようになるので、玩具を置く位置や子どもからの距離に配慮する。 腹ばいにすると嫌がる子どももいるが、はいはいを促す意味でも機嫌のよい時は、腹ばいの遊びが経験できるようにする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>子どもの目の高さになり一緒に遊ぶ</p> </div> <p>※ お座りについて 自分から座れるようになり、お座りの姿勢からはいはいができるようになるまで、基本的にはお座りは待つことが大切である。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> 職員は慌てずに状況判断をし、職員同士声をかけ合いながら、子どもの安全確保をすると共に、安心させるような表情や声かけ、スキンシップなどを心がける。





<教育> 身近な人と気持ちが通じ合う

<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> 安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 体の動きや表情、発声などにより、保育士と気持ちを通わせようとする。 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。 	
<p>内 容</p>	<p>保育士が配慮すべきこと</p>
<p>○ 愛情豊かな関わりにより安心して過ごす。</p> <p>○ 保育士の語りかけに応答し、目を見つめて微笑んだり手足をバタバタと動かしたり、声を出したりする。</p>	<p>【人との関わりの基礎をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士は子どもの要求（気持ち）に丁寧な応答をしていくことで心と体の発達を促していく。 基本的な信頼関係が育つように、できるだけ特定の保育士が関わって、安心した気持ちがもてるようにする。 笑顔であやしたり抱っこしたり働きかけをする時は、やり取りをするような気持ちで行い、一方的にならないようにする。 泣いて不快や欲求を表している時には、理由を理解しようと努め、愛情をもって接する。 <div data-bbox="1027 981 1273 1258" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="959 1272 1321 1339" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>子どもと気持ちを通わせる</p> </div> <p>【“あやす”ことを大切に】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもからの発声に優しい笑顔で「嬉しいの、お話しているのね」「気持ちいいね」などの声かけをしながら応えていくことで、声を出すことが楽しいひとときになるようにする。 あやす時には、子どもとしっかり目を合わせる。 <div data-bbox="762 1626 1232 1912" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="849 1928 1145 1995" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>優しい笑顔であやす</p> </div>



<教育> 身近な人と気持ちが通じ合う

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 心地よい時は微笑み、不快な時は泣いて欲求を表す。</p> <p>○ 保育士に思いや欲求を、発声や喃語から汲み取り対応してもらうことで、やり取りの心地よさを感じる。</p>	<p>【自分の気持ちを十分に出す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの思いや欲求を理解し対応する時には、必ず「お腹がすいたのね」「次は〇〇して遊ぼうね」など言葉をかけながら子どもと向き合う。 ・ お腹がすいた、おむつが濡れたなどの生理的欲求だけでなく「相手をして欲しい」「遊びに飽きた」など、自分の気持ちを声や表情で表す姿が見られたら、保育士は表情や泣き声を見逃さず、気持ちを理解し対応することで心地よく過ごせるようにする。 <p>【優しい語りかけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一対一で子どもの発声に応じて子どもと同じように返し、やり取りを楽しむ。 ・ 表情豊かにあやしたり、歌を歌ったり、リズムよく体に触れたりして、子どもの発声を豊かにしていく。 <div style="text-align: center;">  <p>一対一のやり取りを大切にする</p> </div>
<p>○ 温かい雰囲気の中で、思いや欲求をありのままに受け止めてもらうことで、人と一緒にいる心地よさを感じる。</p>	<p>【基本的信頼感を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつも自分に関わって、世話をしてくれる人が分かるようになるので、甘えたい、傍にいて欲しいなどの思いや欲求が表現しやすいように、できるだけ同じ保育士が関わるようにしていく。

<教育> 身近なものに関わり感性が育つ

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。 身体の諸感覚による認識が豊かになり、表情や、手足、体の動きなどで表現する。 	
内容	保育士が配慮すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ○ 眺めたり、触ったり、なめたりと、様々な試しながら物に親しみ満足感や面白さを味わう。 ○ 生活や遊びを繰り返す中で、音の動き、色、形、手触りなどに気付く。 	<p>【眺めたり、触ったり、なめたり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 吊り玩具や、握り玩具などを子どもの手近なところに用意することで、見る、握る、なめるなどを楽しめるようにし、子どもが発見したり偶然生じた音や形の変化などに驚いたり、面白さを感じられるようにする。 握り玩具や自分の手指を口に入れるので、常に清潔や安全に気を配る。特に手作り玩具は、衛生面と安全性に十分注意し点検をする。 <p>【 好奇心を育てる 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音の出るものや、色のはっきりとした玩具、色々な感触の玩具などを保育士が振って見せ、吊ったり、身の回りに置いたりして、子どもが手に触れて遊ぶことができる環境をつくる。 大きな物音や生活音、保育士の動きや会話などで子どもの遊びが妨げられないよう静かで穏やかな雰囲気大切にしていける。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>満足感や面白さが味わえる環境</p> </div>

<教育> 身近なものに関わり感性が育つ

内容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 保育士の落ち着いた優しい声と共に、絵本に触れる。</p> <p>○ 身の回りの物を、うまくつかんだり、落としたりなど、様々な経験を重ねることで手指の操作が巧みになる。</p> <p>○ 保育士による表情豊かな関わりの中で、心地よい気持ちのやり取りを楽しむ。</p>	<p>【大好きな保育士と】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一方的な声かけではなく、お互いのやり取りを楽しみ心地よいリズムを共有しながら絵本との出会いに繋げていく。 ・ 絵本を見る時には、膝に乗せてスキンシップを図りながら優しく語りかけていく。 <div data-bbox="839 600 1142 824" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="820 846 1169 913" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 膝に乗せて一緒に楽しむ </div> <p>【「触れる」を大切に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見る、聞く、触れる、打ちつける、つかむ、引っ張るなどが満足するまでできるように、音や色彩、形、操作のできる玩具などを用意して、興味や関心を引き出していく。 ・ 遊んでいる子どもの様子を見守りながら「きれいな音ね」「楽しいね」など、子どもの気持ちに添った言葉をかけ、やり取りをしていく。 <p>【心地よいやり取り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色々な発声ができるようになり「アー」「ウー」「ブー」とおしゃべりする様子が見られるようになるので、笑顔で語りかけたり表情豊かにあやしたり、歌を歌って心地よく過ごせるようにする。 <div data-bbox="783 1509 1216 1935" style="text-align: center;">  </div>


<子どもの保育目標>

特定の大人との愛情豊かで受容的・応答的な関わりの下、生活リズムをつかみ心地よく生活する

<養護> 生命の保持

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ① 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。 ② 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 ③ 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 ④ 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。
保 育 士 が 行 う 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・登園時の健康観察や子どもの様子の把握を日々必ず行い、家庭での食事や睡眠などについて保護者から情報を得る。 ・常に体の状態・機嫌・食欲などの観察を十分に行い、変化が見られた時は適切に対応する。 ・不適切な養護の早期発見・児童虐待への対応など子どもの人権を守る視点からも日々の心身の健康状態の確認や継続的な把握、記録を行う。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・保育士が子どもの疾病についての理解を深める。 ・子どもの周囲の環境を点検し、衛生的な環境への細心の注意を払う。 ・子どもの発達の過程や特性を踏まえ、一人一人の子どもの行動を予想し、起こりやすい事故を想定しつつ環境に留意して事故防止に努める。 ・子どもの活動を保障し、子どもにとって安心・安全な環境維持及び向上を図る。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・明るさ・温度・湿度・音などについて常に配慮する。 ・保育士は応答的に関わりながら、食欲や睡眠などの生理的欲求を満たしていく。 ・送迎時の保護者との会話や連絡帳、懇談会などを通し、積極的に家庭との情報交換を行い、子どもの一日の生活全体を考慮して、食事・睡眠・休息・遊びなどが無理なく営まれるようにする。 ④ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を見通し、全身を使う運動を適度に取り入れ、それぞれの状態に応じた活動を十分に行う。 ・生活リズムに合わせて適度な休息をとることができるようにする。 ・静と動のバランスを配慮して、保育の内容に柔軟に取り入れる。 ・友達と一緒に食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わえるようにする。 ・基本的な生活習慣の習得については、急がせることなく、一人一人の子どもの様子をよく見て適切な時期に適切な援助をしていく。


<養護> 情緒の安定

ね ら い	<p>① 一人一人の子どもが、安定感をもって過ごせるようにする。</p> <p>② 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</p> <p>③ 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</p> <p>④ 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。</p>
保 育 士 が 行 う 事 項	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの心身の状態や発達過程を的確に把握し、それぞれの子どもの欲求を受け止め子どもの気持ちに寄り添う。 ・優しいまなざしや態度で関わる。 ・温かなやり取りやスキンシップを心がける。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの気持ちを汲み、適切に応答する。 ・子どもと向き合う中で、自らの思いや願いを子どもに返していく。 ・生活の中で互いに認め信頼し合う関わりを通して、生涯にわたる人との関わりの方基盤となる基本的な信頼感を培う。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自発性や探索意欲が高まるような環境を計画的に構成し、保育士は見守り共感しながら励ましたり必要な助言を行ったりする。 ・人と物との出会いの中で芽生える様々な感情や考え、多様な体験の過程を保育士が見守り受け止めることによって、子どもの自己肯定感を育む。 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活全体を見通し、家庭と協力しながら心身の状態に応じて適切に援助していく。 ・静かで心地よい環境の下で、子どもが心身の疲れを癒すことができるようにする。 ・子どもの家庭での就寝時間に配慮して、午睡の時間帯を工夫し柔軟に対応する。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px 20px; display: inline-block;">保育士の温かいまなざしの中で</div> </div>

<教育> 健やかに伸び伸びと育つ

<ねらい>



- ・ 身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。
- ・ 伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。
- ・ 食事、睡眠などの生活のリズムの感覚が芽生える。

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 離乳食の味、形態に慣れる。</p> <p>○ 手づかみで（自分で）食べようとする。</p>	<p>【食べることは楽しい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達に応じて、離乳食を進める。 ・ なるべく同じ保育士が関わり、安定して食べられるようにする。 ・ 食事量にこだわらず、満足した様子を見せた時や眠くなった時は、途中であっても無理強いはしない。 ・ 食事が機嫌よく食べられるように睡眠などの生活リズムを整えていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で食べようとする気持ちを大切にする。 ・ 食事時間にかけて眠くなったら睡眠を優先する。 ・ 一人一人に合わせ、手づかみやスプーンで食べることが経験できるようにする。 ・ 安定した姿勢で食事ができるよう一人一人の体格に合わせて、椅子・テーブルを調整する。（背あて・足置きなど） ・ 栄養士、調理師、看護師、担任と連携を取りながら進めていく。 <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一人一人に合わせた食事の援助</p> </div>

<教育> 健やかに伸び伸びと育つ

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 安心して睡眠をとる。</p>	<p>【一人一人の睡眠のリズムを保障する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠リズムを把握し、気持ちよく眠れるよう一人一人に合った方法で優しく眠りに誘う。 (手を握る・心地よい歌を歌う・抱っこ・おんぶなど) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px 20px; display: inline-block;">優しく眠りに誘う</div> </div> <p>※ 睡眠中の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 照明は、睡眠時の乳幼児の顔色が観察できるくらいの明るさを保つ。 乳幼児の傍を離れない。機器の使用の有無にかかわらず、必ず職員が傍で見守る。 仰向け寝を徹底する。(医師がうつぶせ寝を勧める場合を除く) 睡眠時チェックをきめ細やかに行い、記録する。 (姿勢、顔色、呼吸の状態、体温) 厚着をさせ過ぎない、暖房を効かせ過ぎない。 保護者と緊密なコミュニケーションを取る。 <p style="text-align: right;">「保育施設における睡眠中の事故防止及び救急対応策の徹底について」 東京都福祉保健局少子社会対策部通知より</p> <p>※ 排気をしていない子に対しては、溢乳がないか窒息に気を付け注意深くみていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目覚めた時は優しく言葉をかけ、機嫌よく遊びに向かえるようにする。

<教育> 健やかに伸び伸びと育つ

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ おむつを替えてもらい心地よさを感じる。</p> <p>○ 着替えさせてもらう時、保育士の言葉かけに合わせた動作をする。</p> <p>○ 戸外に出ることを喜ぶ。</p>	<p>【きれいになって気持ちいいね】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おむつ交換をする時は、目を見て優しく語りかけながら取り替え、心を込めて丁寧に対応される心地よさを味わえるようにする。 ・ おむつ交換は汚れたら取り替え、いつも清潔で気持ちよく過ごせるようにする。 ・ 子どもの遊びを妨げないように、合間を見て「きれいにしましょう」「気持ちいいね」など声をかけ、気分を変えておむつ交換をする。 <p>※ おむつ交換のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排便の時は性状、回数、混入物、時間などよく見て体調を把握する。 ・ おむつ交換をした時は、石鹸で手を洗う。 ・ おむつ交換は、清掃、消毒がしやすくプライバシーに配慮できる一定の場所で行う。 <p>【子どもは新陳代謝が活発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発汗が多いのでこまめに着替えを行う。 ・ 着替えの際は声をかけながら行い、身体観察をする。 ・ 被りのシャツ類は両腕を脱がせてから頭をくぐらせるなど、優しく行う。  <ul style="list-style-type: none"> ・ 帽子を被せ、直射日光が当たらないように気を付けて外に出る。 ・ 月齢や体調により時間の調節をする。 


<教育> 健やかに伸び伸びと育つ

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 姿勢を変えたり移動したり様々な身体活動を十分に行う。</p> <p>○ 災害時の対応</p>	<p>【はいはいをたくさんしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はいはいがたくさんできる環境づくりをする。 (段差や傾斜を利用し、体のいろいろな部位を使って遊べるようにしていく) ・ はう・つかまり立ち・つたい歩き・歩くなど運動発達の順序性を大切にしていく。 ・ 玩具や保育士の声かけで興味を広げ、自分で動きたい要求を満たす。 ・ 一人一人の運動発達をよく見極めて安全に留意し、自由に自然なその子の動きができるようにする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">体を使って遊ぶための環境</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は慌てずに状況判断をし、職員同士声をかけ合いながら子どもの安全確保をすると共に、安心させるような表情や声かけ、スキンシップなどを心がける。



<教育> 身近な人と気持ちが通じ合う

<ねらい>




- ・ 安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。
- ・ 体の動きや表情、発声などにより、保育士と気持ちを通わせようとする。
- ・ 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 甘えなどの依存欲求を受け止めてもらうことで情緒が安定し安心感をもって過ごす。</p> <p>○ 保育士とのやり取りを心地よいものと感じ、声や表情での感情表現が豊かになり、積極的に保育士などに関わるようになる。</p>	<p>【愛着関係を育てる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの状況が少しずつ分かってきて知らない人や場所に不安を抱く時期なので、子どもの表情や緊張感を察し、温かいまなざしや言葉かけで安心できるようにする。 ・ いつも世話をしている保育士が相手をしたり関わったりすることにより大人への愛着行動を育て、信頼感が増すようにしていく。 ・ 子どもから離れる時は、「～してくるからね」「待っていてね」と声をかけてから行動する。また、関わる時も必ず声をかけてから行う。 ・ 一人遊びをしている時は見守り、甘えてきた時はその気持ちを満たすようにする。 <p>【応答は優しくゆったり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人にゆったりと関わり、やり取りを楽しむ。また子どもの声に耳を傾け、よい聞き手になるようにする。 ・ 機嫌よく遊んでいる時は、表情や声で子どもの気持ちを受け止め、特に嬉しさや得意げな様子を見逃さず共感していく。 ・ 好きな人を見ると、嬉しそうに笑ったり声を出したりして喜ぶので一緒に触れ合って遊び楽しい時間をもつようにする。 <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一緒に触れ合う楽しい時間</p> </div>




<教育> 身近な人と気持ちが通じ合う

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 生活や遊びの中で保育士や他の子どものすることに興味をもったり模倣したりすることを楽しむ。</p> <p>○ 指さしや言葉で、自分の気持ちを表現しようとする。</p> <p>○ 特定の保育士との心地よい関係の中で、愛着関係を築き、自分が愛されていることを実感する。</p>	<p>【まねっこ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活の中の子どもの行動に優しく言葉を添え「かして」「どうぞ」など、保育士とのやり取りをたくさんしていく。 他の子どもに関心を示し、表情を模倣したりはって追ったりする姿には、保育士が声をかけて仲立ちし、子ども同士の関わり合いの育ちへと繋げていく。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px 20px; display: inline-block;">優しく言葉を添える</div> </div> <p>【言葉にならない思いを言葉にしていこう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指さしやまなざしに込められた子どもの気持ちを汲んで、言葉を添えながら共感して要求を満たしていく。 しぐさで要求を表すようになるため、「ちょうだい」「ありがとう」「ごはんにしようね」「おむつをかえようね」など、言葉を動作に結び付けて話しかけていく。 子どもの興味に言葉を添えて、子ども、保育士、物との三項関係を豊かにする。 <p>【受容的で応答的な関わりを通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人見知りが始まる時期は、食事、排泄、睡眠などはなるべく同じ人が関わることにより、子どもが安心して生活できるようにする。 見知らない人との出会いや見知らない場所の体験は、信頼を寄せる保育士が傍にいて言葉をかけ、不安を取り除くようにする。

<教育> 身近なものに関わり感性が育つ

<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。 ・ 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。 ・ 身体の諸感覚による認識が豊かになり、表情や、手足、体の動きなどで表現する。 	
<p>内 容</p>	<p>保育士が配慮すべきこと</p>
<p>○ 絵本や玩具など、身近な生活用品が用意された中で、身の回りのものに対する興味や好奇心が芽生える。</p> <p>○ 保育士に見守られて玩具や身の回りのもので一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>○ 安心できる環境のもとで、聞く、見る、触れるなど、感覚の働きが豊かになる。</p>	<p>【なめたり、触ったり、試したり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 玩具は気に入ったものが使えるように、子どもの手が届くところに置き、いつでも出したり入れたりを楽しめるようにしておく。 ・ つまむ・握る・はがす・押す・フタの開け閉めなどの指先を使った遊びができるよう、安全に気を付けて十分に楽しめるようにする。 ・ 一人で探索している時に何かを見つけたり、不思議に感じたりする瞬間を見逃さず、子どもの得意気な気持ちや驚きを感じ取り、言葉を添え共感する。 ・ 体の移動行動も活発になり、手の運動もしっかりとしてくるので、操作したり探索したりして遊ぶことが十分できるように環境を整える。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>「やってみたい」を大切に</p> </div> <p>【安心してすごせる環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが振り向いたときに、目を合わせて安心できるようにする。 ・ 子どもが一人遊びに集中している時は見守り、必要以上に話しかけたり過剰な刺激をしたりしないようにし、ゆったりとした雰囲気の中で遊ぶことができるようにする。 <p>【体の諸感覚を十分に働かせながら】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の身の回りの変化や目新しい物に気付き、じっと見たり積極的に触れたりする姿を大切にしていく。 ・ 探索行動はその対象に近づき、見る、つまむ、いじるなどの行動となるので事故に繋がることのないよう、子どもの様子から目を離さないようにし、安全に配慮した環境を整えていく。

<教育> 身近なものに関わり感性が育つ

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 絵本の中に身の回りのものを見つけて、絵本の世界と日常の世界の繋がりに気付き、ふりや、見立てを楽しむ。</p> <p>○ 手指を使い、身の回りのものを引っかいたりつまんだり、握ったりする中で、変化するものの面白さに気付き、関わる喜びを感じる。</p> <p>○ 保育士の歌を楽しんで聞いたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かしたりして楽しむ。</p>	<p>【〇〇はどこ？】</p> <ul style="list-style-type: none"> 膝に抱っこして楽しい雰囲気で見ながら、物の名や動作を表す言葉を話したり「〇〇はどこ？」と問いかけてみたりしながら楽しんでやり取りができるようにしていく。  <p style="text-align: center;">一緒にやり取りを楽しむ</p> <p>【「触ってみたい」を大切に】</p> <ul style="list-style-type: none"> 転がるもの、色彩豊かなもの、触ると動くものなどを子どもの少し前に置いて動かし子どもが興味や関心をもつように働きかけていく。 動きが活発になると、子ども自身が予想できない場面で不安になり、危険なこともあるので、保育士はいつも目を向けて手を差し伸べられるようにする。  <p style="text-align: center;">楽しい、面白いを感じる環境</p> <p>【触れ合い遊びや遊び歌】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士の声で、子どもに合わせてゆったり歌う。 子どもの表情・動きを見ながら一緒に遊んでいく。 体を動かして遊ぶ時には一斉で行うのではなく、立つ、押す、つかまり立ち、伝い歩きなど、一人一人の子どもが今、しようとしている遊びが十分できるようにする。  <p style="text-align: center;">歌やリズムに合わせて一緒に楽しむ</p>